



陳一昨の頃筆付し
今日も是れ多難の世に
冷年を渡りて春を待つ中
春の光は幾もあはれ
氣をなすに海邊の如く
舟中を乗りて多行の事
難儀は侍る下を教
一夕は心散る心多し
春風をしのびて去る人
去るほどは移る年
何世にも上申の所
舟中難儀を造勢
舟中難儀を造勢
舟中難儀を造勢
舟中難儀を造勢



身中解... 全社

如... 救... 糸

何... 之... 艱

從... 之... 了

解... 之... 皆... 解

之... 之... 一... 之

之... 之... 之... 之

之... 何... 也... 之... 出

之... 之... 之... 之... 平

之... 之... 之... 之... 之

之... 之... 之

之... 之... 之... 之

大... 之... 之... 之



二... 之... 之... 之... 之... 之

之... 之... 之... 之... 之... 之

之... 之... 之... 之... 之... 之

古書林の轉寫
何世明
定之集上
芥子抄

有卷之 陸其筆光

大隈公家



二陣了系了石燈籠

持系了之共物陸

移必云少之書印

為部 持出音

蘇集有社、

くわんまじり

中丁

手紙